

青少年育成だより

発行 塩尻市青少年育成センター
電話 52-0894



7月の活動日誌から ～各地区の活動紹介～



7月1日(火) 大門

「青少年の被害・非行防止全国強調月間」における県下一斉街頭啓発に伴い、塩尻駅前において朝の通勤・通学時間帯に駅の利用者にポケットティッシュとパンフレットを配布しました。冒頭、塩尻市副市長・塩尻警察署・塩尻市保護司会の方からご挨拶をいただき、駅の東西に分かれて活動を行いました。高校生をはじめ、朝のお忙しい通勤途中のみなさんも、あいさつを交わしながらポケットティッシュを受けとっていただき、気持ちよく活動することができました。朝から暑い日で活動は大変でしたが、ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。



7月1日(火) 広丘

7月の「青少年の被害・非行防止全国強調月間」にあたり、青少年の健全育成と安全・安心に対する地域の理解を図るため、同時に福祉関係団体による「社会を明るくする運動」と協働で JR 広丘駅において街頭啓発活動を行いました。当日は、広丘地区青少年育成委員協議会、塩尻市保護司会、塩筑地区更生保護女性会さらに塩尻市長、塩尻警察署担当者らが JR 広丘駅に参集し、西口・東口に分かれ列車乗降の通勤・通学の方々に運動の主旨を述べつつポケットティッシュ、パンフレットを手渡しました。電車が到着する度にどっと通勤者が出てくるので、声かけやティッシュの手渡しも大忙しでした。中には、「活動ご苦労様です」など、私たちに感謝の意を表す方々もあり、大いに元気づけられました。また、参加の皆さんと情報交換や交流も図られ、有意義な活動となりました。



7月9日(水) 吉田

吉田小学校の通学路の見守りを予定していましたが、猛暑のためあいさつ運動と車での巡回に切り替えて活動を行いました。当日は集団下校日で、各地区ごとグループになり、先生や PTA の校外指導部の方々に付き添われての下校でした。慣れない集団下校に、中にはグループを間違えて並んでしまった児童もいたようですが、先生方や高学年の児童が指示を出して、大勢での交差点の横断もスムーズに渡っていました。また、「青少年の被害・非行防止強調月間」に伴い、昇降口前ではあいさつ運動を行い、子どもたちに声かけをしました。暑い中とても元気なあいさつを返してくれる子どもたちに、こちらも暑さを忘れるくらい元気をもらいました。

7月18日(金) 檜川

本日も暑さが厳しい日でした。明日から夏休みということもあり、荷物が多い子もいました。約80名の児童、生徒にあいさつをしながらティッシュを配りました。みんなしっかりお礼を言っていました。ティッシュを受け取らない子もいました。このご時世、それも有りなのかなと思いました。檜川の子どもたちはとても元気で、こちら側が元気をもらえます。



7月25日(金) 宗賀

今日は、ゲームセンターと商業施設の巡回を行いました。最初に、ウイングロードとえんぱーくを回り、

テナントの店舗に青少年健全育成協力店のチラシを配りました。夏休みに入り、子どもたちの利用が増える中、万引きや飲酒・喫煙の防止のための見守りや声かけをお願いしました。その後、ゲームセンターに移動し、同様にチラシをお渡ししてから店内の巡回を行いました。親子連れは何組かいたものの、中高生の利用は見られませんでした。

第50回長野県青少年補導活動推進大会 が行われました

7月10日(木)に、中野市市民会館で第50回長野県青少年補導活動推進大会が行われ、県内の青少年補導委員、事務局職員が参加しました。

開会式では、長年補導活動に従事された方の功績を称えて表彰式が行われ、その後の事例発表では、東信から佐久市と中信から塩尻市が、日頃の活動状況について発表を行いました。



塩尻市からは、補導活動の歴史と、組織の見直しの経緯、現在の課題などについて説明をしました。その後の講演会では、「子どもを暴力の被害者にも、加害者にも、傍観者にもしないために私たちおとなができること」と題し、NPO 法人子ども・人権・エンパワメント CAP ながの理事の矢野宏美様からお話をいただきました。「安心・自信・自由」は、奪われてはならない大切な権利。大人が正しい知識を持ち、子どもの話をしっかり聞いて、子どもたちが自分を「大切な私」と思える肯定的な関わりをすることが大切とのことでした。

夏休み「ネット安全教室」 を開催しました



7月30日(水)洗馬公民館で、小学生を対象とした「ネット安全教室」を行いました。この講座は、夏休み子ども応援企画の一環として、増加する子どもたちのインターネット利用によるトラブルを未然に防ぐために開催しました。当日は、NTT 東日本の方を講師に迎え、NTT はどんな仕事をしている

のか説明を聞いた後、インターネットを使用する上での注意点や、SNS を使用する際のコミュニケーションマナーなどを学びました。夏休みでゲームやスマートフォンに触れる時間が増える中、子どもたち一人一人が、正しい知識とスキルを身につけ、安全に楽しく活用してもらいたいと思います。



連日記録的な猛暑が続いています。これに伴い熱中症で緊急搬送される方の数も増えています。まだまだ続く暑さと、熱中症に備え、今回は塩尻市青少年育成委員協議会の副会長で、現役の消防士でもいらっしゃる檜川地区の平林昌利さんに、熱中症対策についてお話を伺いました。



平林副会長

熱中症ではどのような症状がみられますか

体が動かない、発汗、しびれ、体中が暑いなどの症状がみられます。

どういう場所で起こりやすいですか

屋外はもちろんですが、室内でも発生します。特に高齢者の方は室内でも注意が必要です。

救急車を呼んだ方がいい症状は

しびれや吐き気、体が動かないなどありますが、おかしいと思ったら救急車を呼んでください。

熱中症を予防するには

スポーツドリンクなどでこまめな水分補給と、食事や睡眠をしっかりすることが大切です。

交流文化部 社会教育スポーツ課 社会教育係

電話：0263-52-0894

FAX：0263-53-7604

窓口：塩尻総合文化センター1階 総合受付

担当：林 奏芽、上條 勝美